

やまぐち学園だより

やまぐち学園教育目標：発見し、はぐくみ、かたちにする学びの広場
めざす人間像：よりよい未来を共に創り出す人間

第8号 2021年2月9日(火)

山口大学教育学部附属幼稚園

〒753-0070 山口市白石三丁目1番2号 TEL 083-933-5960

山口大学教育学部附属山口小学校

〒753-0070 山口市白石三丁目1番1号 TEL 083-933-5950

山口大学教育学部附属山口中学校

〒753-0070 山口市白石一丁目9番1号 TEL 083-922-2824

やりたいことはやらなければならないことの先にある

附属山口中学校長 末 永 勝 明

3年生がもう一月で中学校を巣立っていきます。やまぐち学園（附属幼稚園・附属山口小学校・附属山口中学校）が幼小中一貫教育に本格的に取り組み始めて4年になります。今の中学校3年生が小学校6年生だったときからです。一貫教育は、たとえばいわゆる「小1プロブレム」や「中1ギャップ」などを解消するために校種間の接続を滑らかにしたり、カリキュラムに連続性、系統性をもたせたりすることで、子どもたちの学びと育ちを豊かにそして確実なものにしていくことを目的としています。

今春中学校を巣立っていく3年生は、はたして「よりよい未来を共に創り出す人間」にどれだけ近づくことができたでしょうか。やまぐち学園が掲げるこのめざす姿は、中学校卒業時に完成されるものではありません。もっというならば、もしかすると一生かかっても完成されることがないかもしれないのです。中学校の学校教育目標は「昨日よりも今日を 今日よりも明日を ～まえむき・ひたむき・さわやかな学校～」です。人間として生きて行く限り未来はずっと続きます。幼稚園、小学校、中学校は「よりよい未来を共に創り出す人間」になるための素地、基礎を身につける場であると考えています。

「やりたいことはやらなければならないことの先にある。」ほんとうにやりたいことは、やらなければならないことをしてからでないとできないということです。子どもも大人も、生活していくために日々しなければならないことが多くあります。それらを怠ってやりたいことに時間を費やすことはできません。このことは子どもたちの学びやさらには生き方にも通じるころがあると思っています。

「生きて働く知識・技能」、「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力」、「学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性」、「主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）」。これらはいずれも新学習指導要領におけるキーワードです。中でも「主体的・対話的で深い学び」は学び方であり、授業のあり方に大きく関わっています。ですが、そのことばかりに目が行ってしまい、肝心の「知識・技能」が軽んじられているかのように思われがちなところもあります。MP人間科学研究所代表の榎本博明氏は著書の中で「アクティブ・ラーニングとしてのグループワークやプレゼンテーションが有効に機能するかどうかは、それに先だって知識の獲得が十分に行われているかどうかにかかっている。」「子どもも大学生も、何の知識もなく考えるように言われても、十分に考えることはできない。」「能動的・主体的な学びを促進するためには、まずは深い思考を可能にするような豊かな知識を取り込んでもらう必要がある。」などと述べています。基本的な知識・技能を確実に身につけることなしには、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力が身につくはずもなく、ましてや主体的・対話的で深い学びなど到底できないのです。

学習のことばかりになってしまいましたが、さきほどの「やりたいことをする」さらに「よりよい未来を創る」もそうです。それができるためには、基礎となる知識・技能、そして豊富な経験が必要です。希望や理想を掲げただけではできないのです。

附属学校園の使命の一つに「実験的・先導的な取組や地域における指導的・モデル的な取組」がありますが、これらもそれぞれの学校園が「附属」である前に、「幼稚園」として、「小学校」として、そして「中学校」としての基礎・基本を身につけた上で成り立つものです。子どもたちが「よりよい未来を共に創り出す人間」に近づけるよう、学校園としての基礎・基本を大切にしながら、これからも一貫教育を推進していきたいと考えています。すべては目の前の子どもたちのために。

【附属幼稚園】



新しい年を迎え、子どもたちはますます元気に様々な正月遊びを楽しみました。羽根つきやひもゴマ、竹馬など、すぐには上達しない遊びにも繰り返し粘り強く取り組み、できるようになると友達と一緒に嬉ぶ姿も見られました。数年ぶりという寒波もあり、雪が積もったりつららができたり、池に厚い氷がはったりして、子どもたちは目を輝かせて探したり、遊びに使ったりして楽しみました。厳しい冬の自然現象も子どもたちにとっては「面白い、不思議、楽しい」を運んでくれているようです。

また、2月2日の節分の日には、赤鬼と青鬼が園庭にやってきました。みんなで心の中の鬼も一緒に追い払おうと豆をまき、鬼は無事去っていきました。その後、福の神様が来られ、みんな安心し笑顔いっぱいでした。

【附属山口小学校】



1年生が幼稚園に行っ
てどんど焼きをしました。



4・5年生に向けて委員会オリ
エンテーションが行われました。



新入学児童保護者説明会が行
われました。

1月14日（木）に委員会オリエンテーションが行われ、6年生が4、5年生に向けて自分たちの委員会の仕事内容やよさを伝えました。委員会の活動について伝えることで、4、5年生がどの委員会でもよりよい学校づくりに向けてがんばっていくのか考える時間となりました。1月29日（金）は、雪の降る中、体育館で新入学児童保護者説明会が行われ、入学に向けての準備や心構えなどを説明しました。もう2か月と少しすると、入学式が行われ、附属山口小学校に新しい仲間が入ってきます。年が明け、徐々に来年度に向けての取組が行われるようになりました。よい締めくくりができるよう、子どもたちと共に前進したいと思います。

【附属山口中学校】

今年度も残すところあと2ヶ月になりました。附属山口中学校では1月8日、新生徒会役員の任命式が行われました。先に行われた生徒会役員選挙で選出された生徒会長をはじめとする生徒会役員、各実行専門委員長が新たに任命されました。一人ひとりのあいさつからは、学校のリーダーとしての責任を自覚していることが伝わってきました。

昨年末、3年生を中心とする旧執行部は、附属中学校の良き伝統をまとめた「附中遺産」を全校に紹介しました。これからは2年生を中心として「附中遺産」を受け継ぎつつ、よりよい附属中学校の伝統を築いていくことを期待しています。



生徒会役員の任命式は、オン
ライン会議システムで行われま
した。どの学年も、新役員のあい
さつに真剣に耳を傾けていま
した。（写真は2年生の教室です。）

新春かるた大会。頭の上に手を置
いて、お手つきをしないように注意して
いました。（1年生）



昨年末、2年生に附属中学校の良き伝統をまとめた「附中遺産」を紹介する3年生の生徒会役員。